

魅せる!
現場

~現場を支える人々編~

天ヶ瀬ダム再開発
トンネル放流設備
ゲート室部他建設工事

現在、天ヶ瀬ダムでは、放流能力を増強する再開発事業が進められている。この事業のうち、ゲート室部他建設工事では、内径が約26mの立坑を設けた後、立坑から流入部に向けて直径約10m、長さ約320mの導流部のトンネルを構築する工事が進んでいる。この現場に、入社2年目にして、こだわりと熱意を持って働く、一人の若手社員がいる。その男が、人生や仕事の転機となった「きっかけ」を語る。

自分関わったものが形になる、
つくったものが後世に残る、
スケールの大きい
ものづくりの現場に
かかわりたくて建設業界を目指した

ものづくりの第一線に立ちたい

小さな頃から、ものをつくるのが好きだった。
ものづくりの第一線に立ちたいと思い、この仕事を選んだ。
現在、自分関わっているこの工事の完成を、一日も早くこの目で見たい。

人生の
キッカケ

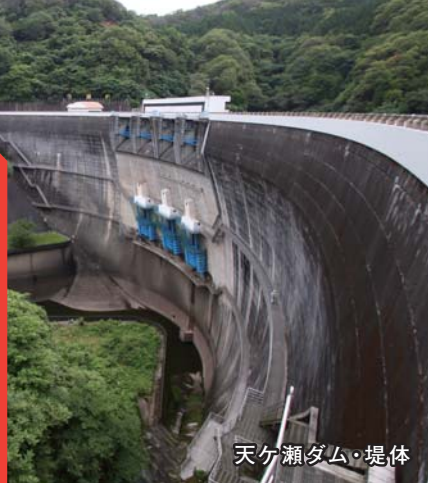
鹿島建設株式会社
天ヶ瀬工事事務所
まつい たかし
松井 貴志

2013年入社 24歳
(2014年現在)
構造工学専攻



最初は分からないことばかり。
でもそこで立ち止まってなんかられない。
分からなかったら、調べればいい。
迷ったら、聞けばいい。
でも自分が決断して、動かない限り、
工事は前に進まない。
みんなの力が結集して、現場が進んでいく。
自分もその一員なのだから。

みんなの力が結集して、現場が進んでいく



天ヶ瀬ダム・堤体



自分が動かなければ、
工事が**止まる**

入社1年目の**自分**に求められたのは
即戦力と**決断力**、
そして**責任感**だった



施工ヤード全景



天ヶ瀬ダム・減勢工

現場での
キツカケ

将来への
キッカケ

日本を代表する工事に関わりたい

仕事で感じる醍醐味、

仕事への熱意と誇り、

その気持ちを忘れずに、

自分は将来、

日本を代表する

工事に関わりたい

様々な苦労や困難の過程を経て、
計画していた構造物が形になる。
それこそがこの仕事の醍醐味。
そして、ものづくりに熱意と誇りを持つ
先輩や仲間がいる。
これからもその気持ちを忘れずに、
将来は、日本を代表するような工事に関わりたい。



工事が進んでいく
一日一日が積み重なって、

現場の一日



8:00

毎朝の朝礼で気を引き締める



10:00

工事に使う材料の確認や手配



11:00

記録を残すため、
施工状況を写真撮影



11:45

昼のミーディングで
作業内容の確認と打合せ



12:00

昼食・休憩



13:00

業務内容取り纏めの事務作業や
現場施工管理



18:00

測量



19:00

次日の準備・確認



プライベート

休日は、ボーリングをしたりして、体を動かすことで、身も心もリフレッシュ。



誇れる特技

9年間習った空手は、二段の腕前。
空手で味わった痛みや疲労に耐える精神力と、それを乗り越えた達成感は、仕事にも通じるところが。



副所長
こばやし しげかず
小林 茂和

1年目で得た知識や経験を、さらにブラッシュアップし、実力を発揮してください。若手のホープとして更なる成長を期待しています。



工事課長
やすなが とよひこ
安永 豊彦

入社1年目から、即戦力で頑張っていますね。今後も期待しています。



機電課長代理
すどう しんいち
須藤 信一

仕事に対する意気込みとして、失敗を恐れないでチャレンジしてください。また、業種にとらわれず色々なことを吸収し、スペシャリストになってください。



事務担当主任
たに さゆり
谷 さゆり

建設現場という過酷な環境の中、頑張っていますよ。これからは一作業一片付けも頑張るようにね。現場管理の基本だから！

先輩からの
コトバ

次回は流入部を担当する大成建設(株)の第二弾です。お楽しみに!